

第97回 中小企業景況調査報告書

1月～3月の実績と
4月～6月の見通し

■ 今期調査の景況キーワード

前年同期比売上D I値は▲8.8で、前期調査時より全業種で7.8ポイント減少した。来期見通し売上D I値は▲14.7で、今期より5.9ポイントの増加を予測している。地域経済は震災後、穏やかながらも持ち直しの動きが見られたが、円高などの影響により今期も来期予測も悪化を予測しており、今後の動向を注視していく必要がある。

景気のキーワードとしては、「円高による先行きの不安」「需要の停滞」「単価の低下」などが挙げられる。

■ 調査時点 平成24年3月31日

■ 対象業種

製造業 25社(19) 建設業 23社(23)
卸売業 18社(15) 小売業 29社(24)
サービス業 25社(21) 合計 120社(102)
※()内は回答企業数

■ 回答率 85.0%

概況

◆ 売上状況(前年同期比)では、売上D I値は▲8.8を示し前期調査時より7.8ポイント減少した。業種別では製造業▲11.8ポイント、建設業▲4.2ポイント、卸売業▲37.5ポイント、小売業5.0、サービス業で17.4となった。

来期見通しD I値は、▲14.7で前期調査時より9.9ポイントの減少を予測している。

◆ 採算水準(前年同期比)では、採算D I値は▲10.8で、前期調査時より2.8ポイント悪化した。業種別では製造業▲10.0ポイント、建設業26.2ポイント、卸売業▲25.0ポイント、小売業▲21.3ポイント、サービス業7.5ポイントとなった。

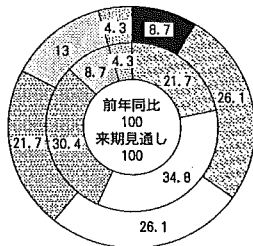
来期見通しD I値は、▲23.6で前期調査時より12.8ポイントの減少を予測している。

◆ 仕入単価(前年同期比)では、仕入D I値は▲30.4で、前期調査時より0.6ポイントと好転した。業種別では製造業で38.9ポイント、卸売業▲18.7ポイント、小売業▲10.9ポイント、サービス業で6.8ポイントとなった。

来期見通しD I値は▲28.4で前期調査時より2.0ポイント好転を予測している。

◆ 資金繰り(前年同期比)では、資金繰りD I値は、▲13.7を示し前期調査時より3.7ポイント悪化した。業種別では、製造業で6.0ポイント、建設業±0ポイント、卸売業▲4.1ポイント、小売業▲25.0ポイント、サービス業で7.7ポイントとなった。

来期見通しD I値は、▲25.4で前期調査時より11.7ポイントの悪化を予測している。



(単位: %)

▼ 建設業

かなり増加
やや増加
変わらない
やや減少
かなり減少
回答なし

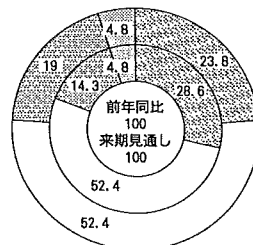
※業種別売上 (外円は前年同期比、内円は来期見通し)

◆ 業界の状況(前年同期比)では、D I値▲51.9で、前期調査時より0.1ポイント好転した。業種別では製造業で27.2ポイント、建設業16.9ポイント、卸売業▲29.2ポイント、小売業9.2ポイント、サービス業で▲23.3ポイントとなった。

来期業況のD I値は▲52.9で、前期調査時より▲1.0ポイントを予測している。

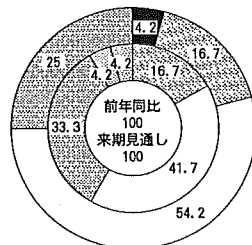
◆ 設備投資では、今期実施した企業は16%で、来期の設備投資を計画している企業は19%であった。

◆ 経営上の問題点としては、製造業では「需要の停滞」「製品(加工)単価の低下」「原材料単価の上昇」、建設業では、「請負単価の低下・上昇難」「官公需要の停滞」「民間需要の停滞」、卸売業では、「需要の停滞」「メーカーの進出による競争の激化」「販売単価の低下」「人件費以外の経費の増加」、小売業では、「消費者ニーズの変化」「購買力の流出」「販売単価の低下」、サービス業では、「需要の停滞」「利用者ニーズの変化」「利用者料金の低下・上昇難」となっている。



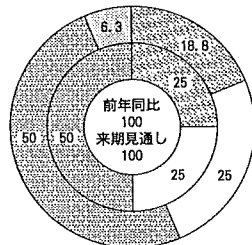
(単位: %)

▼ サービス業



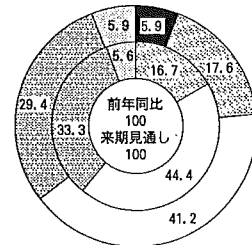
(単位: %)

▼ 小売業



(単位: %)

▼ 卸売業



(単位: %)

▼ 製造業